EPSON
EXCEED YOUR VISION

Multimedia Storage Viewer™
P-7000 / P-6000

印刷ナビゲーションガイド



お気に入りの一枚を、
最高の作品に。



Kan Matsuda

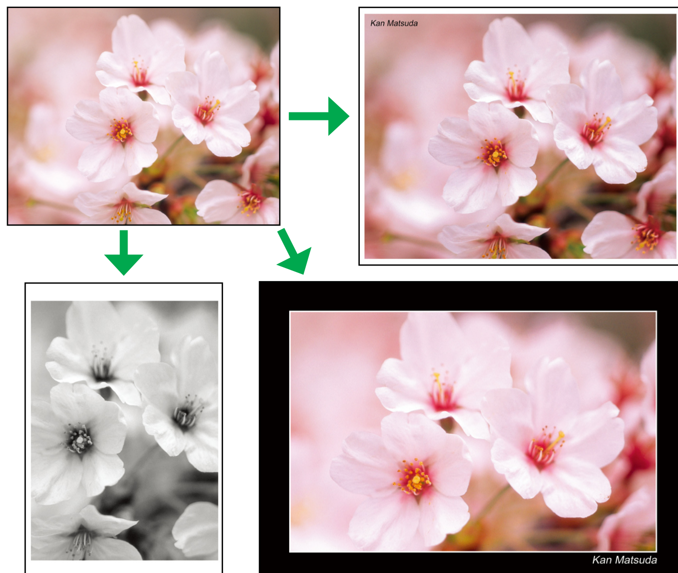
― 本書はP-7000/P-6000の「印刷ナビゲーション」機能の使い方を説明しています。 ―

印刷ナビゲーションで、作品づくり。写真のレタッチやトリミングも思い通り。

作品をつくる

☞4ページ

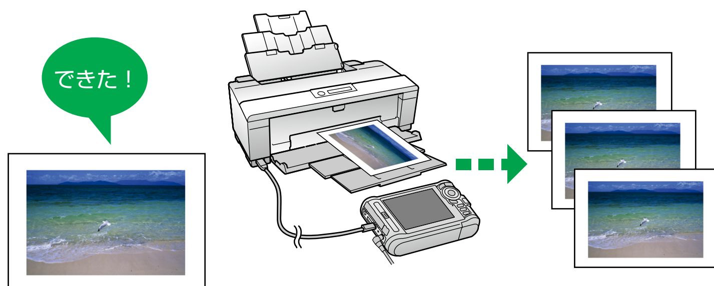
お好きな写真を選んで、作品に仕上げ、プリントするまでを本製品がナビゲーション。
パソコンや画像編集ソフトウェアを使わずに、写真のレタッチ（編集）やトリミング（切り抜き）ができます。



作品を焼き増しする

☞26ページ

作品を焼き増しして、友人に配ったり、部屋に飾ったり。使い道はいろいろです。



オリジナルを印刷する

☞28ページ

作品に仕上げる前の、オリジナルデータを印刷します。

コンタクトシートを印刷する

☞30ページ

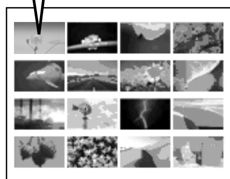
1 枚の用紙に、複数の写真を割り付けて印刷したものを、「コンタクトシート」と呼びます。
写真を確認するときや、たくさん印刷したいときに便利です。

ファイル名も印刷されるんだ。

EPSON0039.EPF



40 面付け



16 面付け

こんなときは

☞32ページ

作品が思い通りの仕上がりにならないときは、どうしたらいい？
印刷ナビゲーションをより使いこなしていただくための、便利機能やコツを紹介します。

もくじ

「印刷ナビゲーション」について

「印刷ナビゲーション」とは、パソコンを使わなくても、本製品とPictBridge 対応のプリンタがあれば、簡単に自分だけの作品をつくることができる機能です。
印刷ナビゲーションでつくった作品は、フォトコンテストに応募したり、誰かに見せたり、部屋に飾ったり…と、楽しみ方はあなた次第です。
さっそく「印刷ナビゲーション」で作品づくりに挑戦してみましょう！

本書について

本書では、本製品の「印刷ナビゲーション」機能の使い方を説明しています。なお、「印刷ナビゲーション」機能以外の、本製品に関する情報全般については、別冊の『操作ガイド』を参照してください。

「印刷ナビゲーション」を使わずに印刷する方法は？

「印刷ナビゲーション」を使わなくても、本製品とプリンタを使用して写真を印刷できます。
本製品の操作に慣れてきたら、試してみてください。（☞ 別冊『操作ガイド』61 ページ「印刷する」）

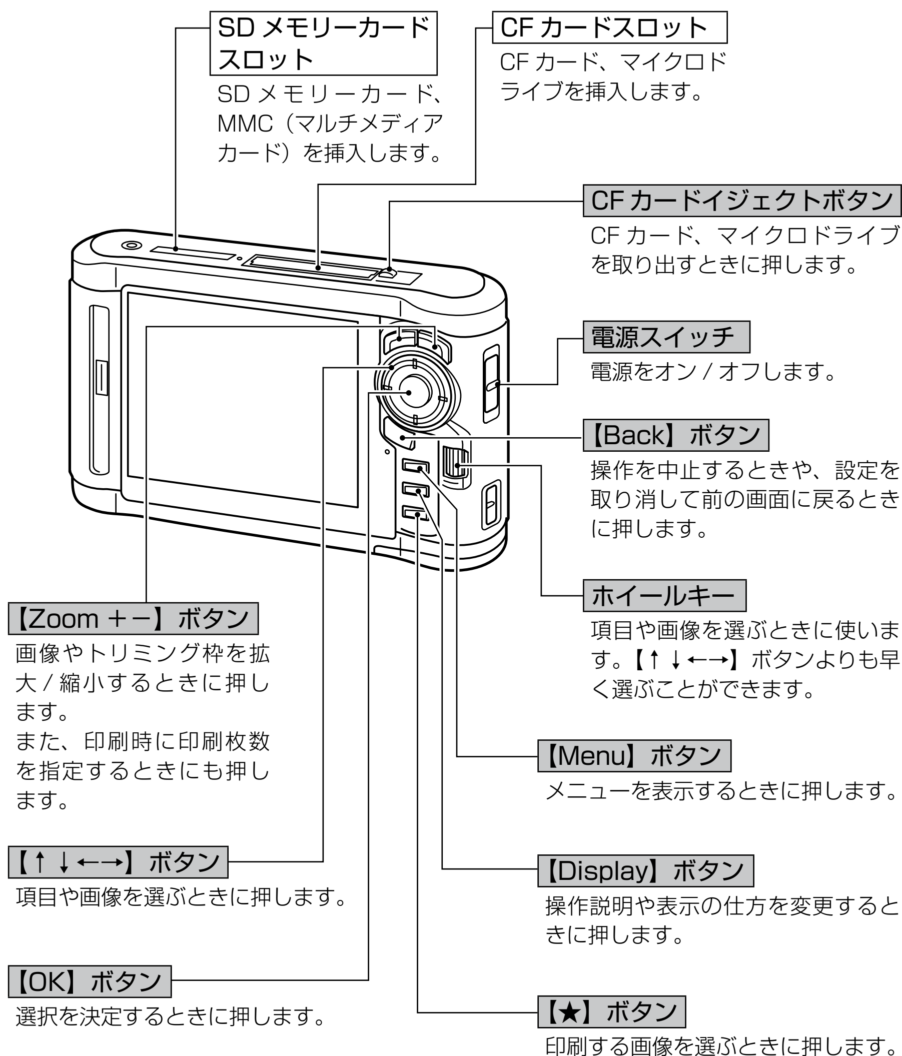
本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
それぞれのマークには次のような意味があります。

!重要	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。
☞	関連した内容の参照先を示しています。

本製品のボタン操作について

本書で使用するボタン操作は、以下の通りです。





作品をつくる

お気に入りの写真を使って、自分だけの作品をつくってみましょう。
ステップ１～ステップ５のかんたん５ステップで、作品が完成します。

ステップ１

画像を選択する



この写真をコンテストに応募したいなぁ。



ステップ２

レタッチ（編集）する



カラーバランスを、マゼンタ寄りに調整しよう。



ステップ３

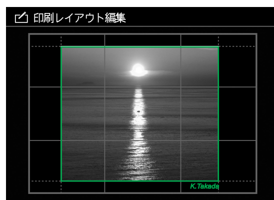
トリミング（切り抜き）する



夕日が真ん中にくるようにトリミングして…

ステップ４

印刷レイアウトを設定する

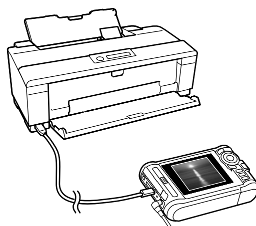


サインを入れて、フチを付けよう。



ステップ５

印刷する



あとはプリンタにつないで印刷するだけ！



作品完成！

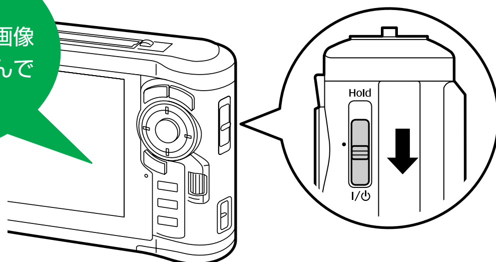


ステップ 1　画像を選択する

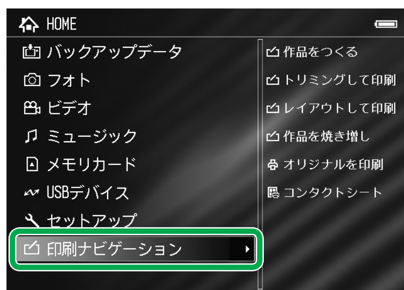
まずは、作品に仕上げる画像（静止画）を選択します。

1 本製品の電源をオンにして、HOME 画面を表示します。

そうだ、事前にメモリカードの画像データを取り込んでおかないと。



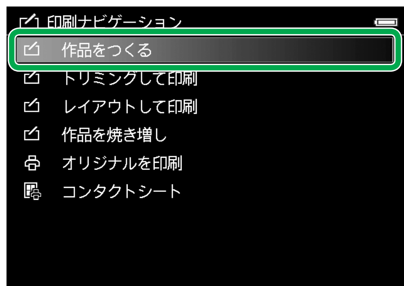
2 [印刷ナビゲーション] を選択します。



① 【↑ ↓】ボタンで [印刷ナビゲーション] を選択

② 【OK】ボタンを押す

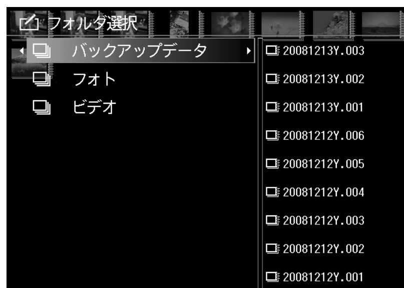
3 [作品をつくる] を選択します。



① 【↑ ↓】ボタンで [作品をつくる] を選択

② 【OK】ボタンを押す

4 作品にしたい画像が入っているフォルダを選択します。



① 【↑ ↓ ← →】ボタンでフォルダを選択

② 【OK】ボタンでフォルダ内を表示

※ さらにサブフォルダを選択する場合は、必要に応じて①〜②を繰り返してください。

5 画像を選択します。



① 【↑ ↓ ← →】ボタンで画像を選択

② 【OK】ボタンを押す

参考

- 【Display】ボタンで画像表示に切り替えることができます。ただし、640 × 480 画素より小さい画像は表示できません。
- RAW データは、本製品で現像できるもののみ印刷できます。RAW データを選択できても、印刷できない場合があります。
  RAW データの対応状況についてはエプソンのホームページをご覧ください。（http://www.epson.jp）

画像を選択できました。次のステップへ進みます。

ステップ２　レタッチ（編集）する

画像を補正 / 調整します。JPEG 画像と RAW 画像のレタッチができます。
レタッチの仕方は、自動補正と手動調整があります。

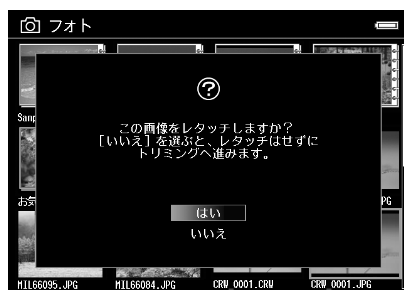
自動補正 : どんな画像にしたいか、［人物］、［風景］などのシーンや目的を選ぶだけで、目的に合わせて本製品が最適な補正をします。

手動調整 : ［明るさ］、［コントラスト］などの設定項目を、自分で細かく調整します。納得のいくまで、いろいろなパターンを試すことができます。

また、自動補正後、さらに手動調整をすることもできます。

参考

- JPEG 画像の場合、レタッチするかどうかの確認画面が表示されます。

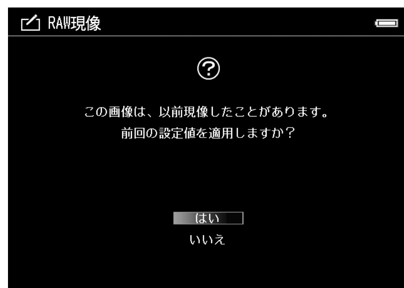


① 【↑ ↓】ボタンで項目を選択
② 【OK】ボタンを押す

▶ レタッチする場合は［はい］を選択
8 ページ 1 へ

▶ レタッチしない場合は［いいえ］を選択
ステップ 3（12 ページ）へ

- 以前現像をしたことがある RAW 画像の場合、画像選択後に前回の設定値を適用するかどうかの確認画面が表示されます。

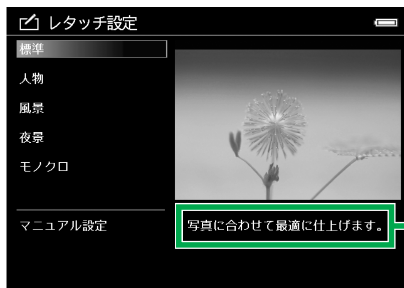


① 【↑ ↓】ボタンで項目を選択
② 【OK】ボタンを押す

▶ 適用する場合は［はい］を選択
前回の設定値で処理されます。
8 ページ 2 へ

▶ 適用しない場合は［いいえ］を選択
8 ページ 1 へ

1 レタッチの仕方を選択します。



①【↑ ↓】ボタンで項目を選択
②【OK】ボタンを押す

ここに選択項目の説明が表示されます。

項目	説明		次の操作
標準	自動補正	本製品がシーンを判別して最適な補正をします。	11ページ 3 へ
人物		人物画像に最適な補正をします。	
風景		風景画像に最適な補正をします。	
夜景		夜景画像に最適な補正をします。	
忠実＊[1]		画像の色を忠実に再現します。	
モノクロ		モノクロ画像に変更します。	
マニュアル設定＊[2]	手動で調整をします。		2 へ

＊１：RAW 画像のみ選択できます。
＊２：自動補正後も選択できます。

2 画像を調整し、画像処理を実行します。

例：RAW カラー画像の場合



設定項目

ヒストグラム

①【↑ ↓】ボタンで項目を選択
②【OK】ボタンで設定画面を表示

③ **調整する**
【↑ ↓】ボタンで項目を選択し、スライダ / メニューで設定

④ **調整できたら、【↑ ↓】ボタンで［OK］を選択**

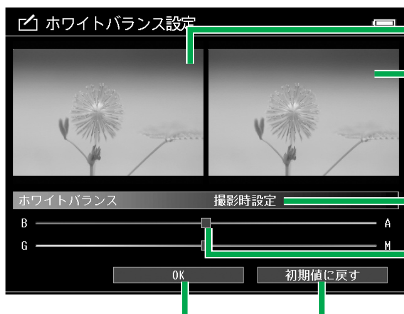
⑤ **【OK】ボタンを押して項目選択画面に戻る**

⑥ **必要に応じて①〜⑤を繰り返し、調整する**

⑦ **調整し終わったら、【↑ ↓】ボタンで［プレビュー］を選択**

⑧ **【OK】ボタンを押す**

例：ホワイトバランスの場合



元画像

調整結果

メニュー
【OK】ボタンでメニューを表示し、【↑ ↓】ボタンで項目を選択して【OK】ボタンを押します。

スライダ
【← →】ボタンでスライダを移動して、設定値を選択します。

設定を決定して、項目選択画面に戻ります。

調整前の設定値に戻ります。

※【Back】ボタンを押すと、設定を取り消してレタッチ設定画面に戻ります。
※【Display】ボタンを押すと、設定を決定してプレビュー画面に進みます。

ホワイトバランス



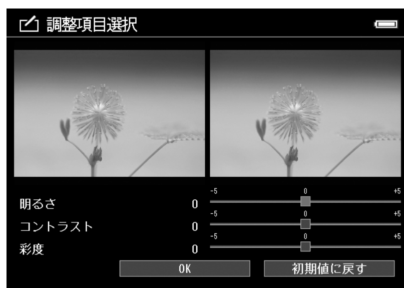
●プリセット設定
[撮影時設定] [晴天] [曇天] [晴天日陰] [蛍光灯] [白熱灯] [フラッシュ]

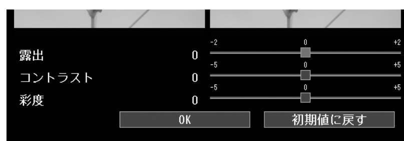
●微調整（色温度）
B（低い） ← → A（高い）

●微調整（色合い）
G（グリーン） ← → M（マゼンタ）

※ JPEG 画像の調整時は、［ホワイトバランス］は表示されません。
※ プリセット設定は、自動画像処理をした画像には設定できません。

明るさ / コントラスト / 彩度 / 露出





●明るさ / 露出

暗い ← → 明るい

●コントラスト

低い ← → 高い

●彩度

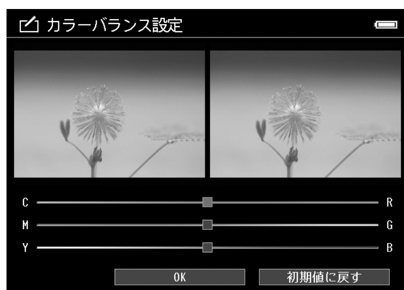
低い ← → 高い

※ JPEG 画像の調整時は、［露出］は表示されません。

※ RAW 画像の調整時は、［明るさ］は表示されません。

※ モノクロ画像の調整時は、［彩度］は表示されません。

カラーバランス



シアン ← → レッド

マゼンタ ← → グリーン

イエロー ← → ブルー

※ モノクロ画像の調整時は、［カラーバランス］は表示されません。

モノクロフィルタ



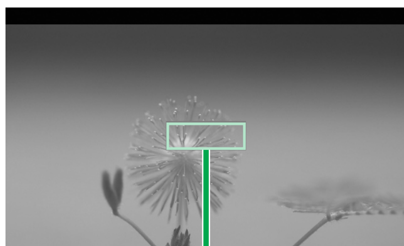
フィルタ色を選択します。

［なし］［緑］［赤］［黄色］［オレンジ］

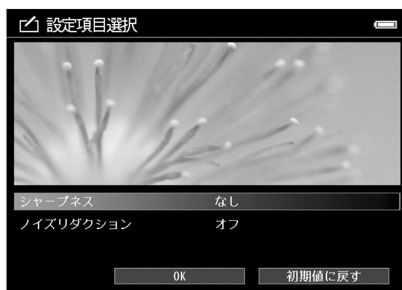
※ カラー画像の調整時は、［モノクロフィルタ］は表示されません。

シャープネス / ノイズリダクション

設定効果を確認できるよう、確認プレビューは拡大表示されます。



プレビュー枠



まず、拡大表示する部分を指定します。
①【↑ ↓ ← →】ボタンでプレビュー枠を移動
②【OK】ボタンを押し、決定

●シャープネス
[なし] [弱] [強]
●ノイズリダクション
[オン] [オフ]

3 プレビュー画像を確認し、思い通りに仕上がっていたら保存します。



① 【↑ ↓】ボタンで項目を選択
② 【OK】ボタンを押す

▶ 保存する場合は［OK］を選択
ステップ３（12 ページ）へ

▶ 調整をやり直す場合は [追加調整] /［追加設定］を選択
８ページ 2 に戻ります。

[フォト]の[PRINT]フォルダに日付別フォルダが作られ、その中に「元のファイル名 _E 連番」名で保存されます。（☞ 本書 32 ページ「中断した続きから作品づくりを始めたい」）

RAW 画像は、現像され JPEG 形式で保存されます。

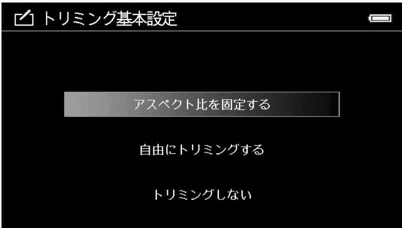
参考

• 保存後、【Back】ボタンを押すと作業を中断できます。ここで一旦作業を終了しても、次回レタッチを再調整したり、続きから作業を始めたりすることができます。（☞ 本書 32 ページ「中断した続きから作品づくりを始めたい」）

ステップ３　トリミング（切り抜き）する

画像の不要な部分を切り取り、必要な部分だけを残します。トリミングの仕方は、「固定トリミング」と「自由トリミング」があります。
また、このステップで水平角度の調整ができます。

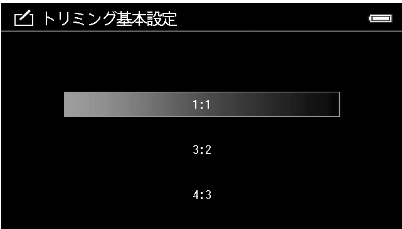
1　トリミングの方法を選択します。



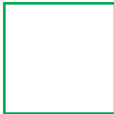
①【↑ ↓】ボタンで項目を選択
②【OK】ボタンを押す

項目	説明	次の操作
アスペクト比を固定する	「固定トリミング」をする場合に選択します。３種類のアスペクト比（横縦比）から１つを選択し、その比率のトリミング枠で設定します。	2 へ
自由にトリミングする	「自由トリミング」をする場合に選択します。トリミング枠の辺を移動して、お好みの長方形にしたトリミング枠で設定します。	13 ページ 3 へ
トリミングしない	トリミングをしないで、次のステップへ進みます。	ステップ４（18 ページ）へ

2　アスペクト比を選択します。



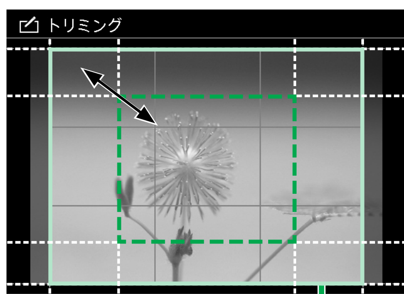
①【↑ ↓】ボタンで項目を選択
②【OK】ボタンを押す

1：1 　3：2 　4：3 

3 トリミング枠のサイズや位置、形を調整します。

トリミング枠が表示されます。この枠の内側が切り抜かれます。
トリミング枠を、拡大 / 縮小、移動、回転（固定トリミング時のみ)、変形（自由トリミング時のみ）して、トリミングする範囲を設定します。
さらに、ここで画像の水平角度の微調整もできます。

固定トリミングの場合



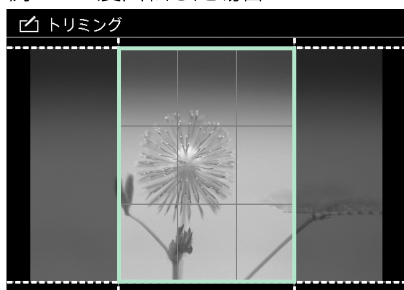
① 【Zoom ＋ －】 ボタンで拡大 / 縮小

トリミング枠の中心を基準にして、拡大 / 縮小します。

② 【↑ ↓ ← →】 ボタンまたはホイールキーで移動

※ ホイールキーを使うと、微調整ができます。【↑ ↓】 ボタンを押した後に使うと上下に、【← →】 ボタンを押した後に使うと左右に移動します。

例：90 度回転した場合

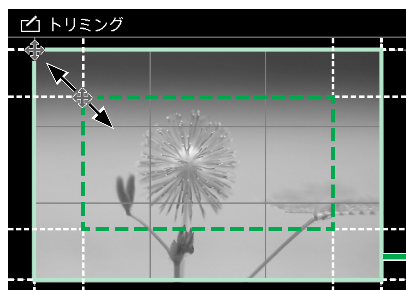


③ 【Display】 ボタンで回転

トリミング枠の中心を基準にして、1 回押すごとに 90 度ずつ回転します。
回転するとトリミング枠が画像からはみ出てしまう場合は、回転できません。トリミング枠を縮小してください。

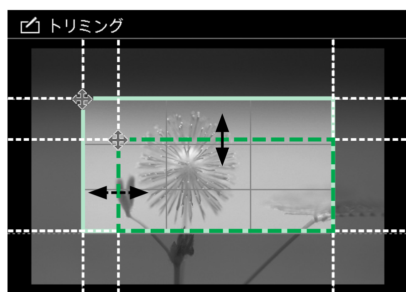
自由トリミングの場合

✥ を挟む辺を移動して、トリミング枠の位置、サイズ、形を調整します。
✥ の位置は、【★】ボタンで切り替えます。1 回押すごとに、左上角と右下角を交互に移動します。



① 【Zoom ＋ －】 ボタンで拡大 / 縮小

トリミング枠の中心を基準にして、現在のアスペクト比を維持して拡大 / 縮小します。

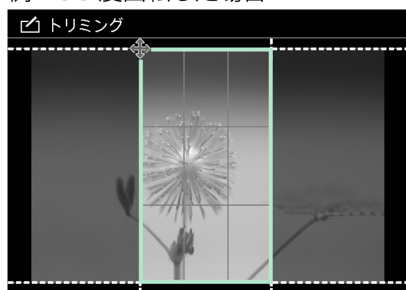


② 【← →】ボタンまたはホイールキーで左 / 右の辺を左右に移動

③ 【↑ ↓】ボタンまたはホイールキーで上 / 下の辺を上下に移動

※ ホイールキーを使うと、微調整ができます。【↑ ↓】ボタンを押した後に使うと上下に、【← →】ボタンを押した後に使うと左右に移動します。

例：90 度回転した場合



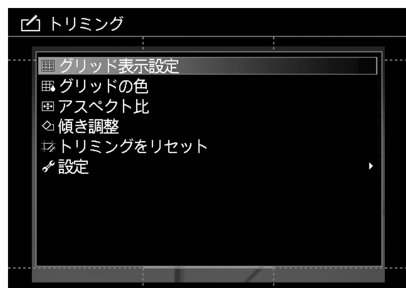
④ 【Display】ボタンで回転

トリミング枠の中心を基準にして、1 回押すごとに 90 度ずつ回転します。
回転するとトリミング枠が画像からはみ出してしまう場合は、回転できません。トリミング枠を縮小してください。

※ 必要に応じて ✥ 位置を切り替えながら、①～④を繰り返します。

参考

- トリミング中に【Menu】ボタンを押すと、メニューが表示されます。内容は、固定トリミング、自由トリミング共通です。



①【↑ ↓】ボタンで項目を選択
②【→】ボタンを押す
③【↑ ↓】ボタンで設定値を選択
④【OK】ボタンを押す
※［トリミング枠の初期化］は①～②までです。

※ 画面の明るさ設定は、①～②の後、以下の操作をします。
③【↑ ↓】ボタンで［画面の明るさ調整］を選択し、【OK】ボタンを押す
④【↑ ↓】ボタンで設定値を選択し、【OK】ボタンを押す

項目	設定値	説明
グリッド表示設定	表示する＊1	グリッド線（マス目）を表示します。
	表示しない	グリッド線（マス目）を表示しません。
グリッドの色	黒、白、赤＊1	グリッド線の色を変更します。
アスペクト比＊2	1：1、3：2、4：3	アスペクト比を変更します。
傾き調整	画像の水平角度を微調整します。（☞ 本書 16 ページ「傾き調整」）	
トリミングをリセット	トリミング枠を元のサイズ、位置に戻します。	
設定	画面の明るさ、ガイド音のオン / オフ、操作音のオン / オフを設定できます。	

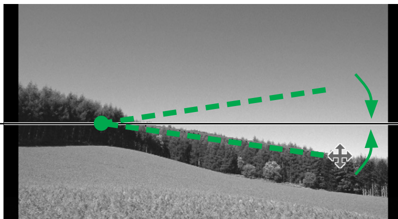
＊1： 購入時設定
＊2： 自由トリミング時は表示されません。

作品をつくる

傾き調整

トリミング操作の途中で【Menu】ボタンを押し、メニューから［傾き調整］を選択すると、画像の水平角度の微調整ができます。
ゆがんで撮影された画像の調整はもちろん、デザインとして斜めに配置しても楽しめます。





± 20 度まで

① **メニューから［傾き調整］を選択し、【OK】ボタンを押す**

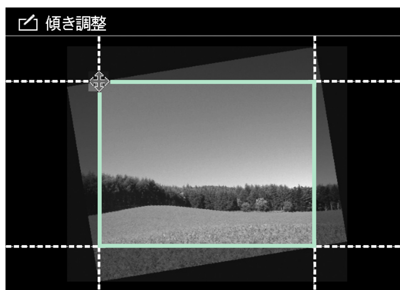
② **【↑ ↓ ← →】ボタンで基準位置に を移動する**

③ **【OK】ボタンを押す**

④ **【↑ ↓ ← →】ボタンまたはホイールキーで を移動して、角度を決める**

を移動すると赤い線が引かれます。この線が水平になるように画像が回転します。

※ ホイールキーを使うと、微調整ができます。 が上下に移動します。



⑤ **【OK】ボタンを押す**

メニューを表示する前の画面に戻り、画像が回転されて表示されます。画像全体が表示されるように、縮小表示されます。

トリミング枠は画像内に収まるように、自動的にサイズが調整されます。

引き続き、トリミング枠を調整できます。

参考

- 設定できる回転角度は、－ 20 度～＋ 20 度です。

4 トリミングが設定できたら、【OK】ボタンを押します。

5 プレビュー画像を確認し、思い通りに仕上がっていたら保存します。



① 【↑ ↓】ボタンで項目を選択

② 【OK】ボタンを押す

▶ 保存する場合は［OK］を選択

ステップ４（18 ページ）へ

▶ トリミングをやり直す場合は［追加調整］を選択

トリミング画面（13 ページ 3）に戻ります。

「元のファイル名 _E 連番」名で保存されます。

レタッチデータを保存後トリミングした場合は、レタッチデータと同じフォルダに保存されます。

トリミングから操作した場合は、[フォト] の [PRINT] フォルダに日付別フォルダが作られ、その中に保存されます。（☞ 本書 32 ページ「中断した続きから作品づくりを始めたい」）

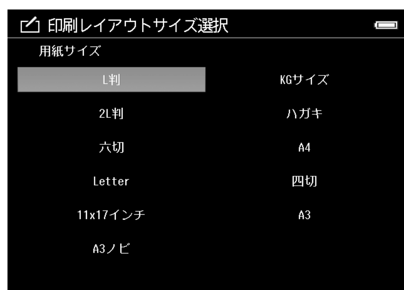
参考

- 保存後、【Back】ボタンを押すと作業を中断できます。ここで一旦作業を終了しても、次回トリミングを再調整したり、続きから作業を始めたりすることができます。（☞ 本書 32 ページ「中断した続きから作品づくりを始めたい」）

ステップ４ 印刷レイアウトを設定する

用紙のどの位置に、どのように写真を配置するか、レイアウトします。写真の周囲に枠を付けたり、背景色やサインを入れたりすることもできます。

1 レイアウトする用紙のサイズを選択します。



① 【↑ ↓ ← →】ボタンでサイズを選択

② 【OK】ボタンを押す

2 レイアウト画面が表示されます。画像の位置やサイズを調整して、レイアウトします。



実線はグリッド線

破線は画像の位置を示す参考線

① 【Zoom ＋ −】ボタンで拡大 / 縮小

トリミング枠の中心を基準にして、拡大 / 縮小します。

② 【↑ ↓ ← →】ボタンまたはホイールキーで移動

※ ホイールキーを使うと、微調整ができます。【↑ ↓】ボタンを押した後に使うと上下に、【← →】ボタンを押した後に使うと左右に移動します。

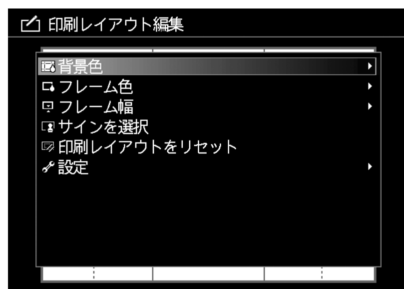
③ 【Display】ボタンで回転

トリミング枠の中心を基準にして、1 回押すごとに 90 度ずつ回転します。

回転すると用紙から画像がはみ出てしまう場合は、回転後、縦または横の長い方の辺が最大で入るサイズにリセットされます。

参考

- 2 の画面で【Menu】ボタンを押すと、メニューが表示されます。



① 【↑ ↓】ボタンで項目を選択
② 【OK】ボタンを押す
③ 【↑ ↓】ボタンで設定値を選択
④ 【OK】ボタンを押す
※ ［印刷レイアウトをリセット］は①～②までです。

※ 画面の明るさ設定は、①～②の後、以下の操作をします。
③ 【↑ ↓】ボタンで［画面の明るさ調整］を選択し、【OK】ボタンを押す
④ 【↑ ↓】ボタンで設定値を選択し、【OK】ボタンを押す

項目	設定値	説明
背景色	黒、白*、グレー	背景色を設定します。
フレーム色	黒、白*、グレー	画像の枠の色を設定します。
フレーム幅	なし*、細い、普通、太い	画像の枠の幅（太さ）を設定します。
サインを選択	サインを選択し、配置します。（☞ 本書 21 ページ） サインデータがないと配置できません。印刷ナビゲーション機能を実行する前に、サインを設定しておきます。（☞ 本書 20 ページ）	
サインを編集	サインを編集します。サインを配置していないと、この項目は表示されません。 編集の仕方は、「サインを配置する」（☞ 本書 21 ページ）の④～⑤と同じです。	
印刷レイアウトをリセット	レイアウトをリセットします。	
設定	画面の明るさ、ガイド音のオン / オフ、操作音のオン / オフを設定できます。	

＊： 購入時設定

サインを設定する

作品にサインを入れるには、あらかじめサインを作成し、本製品に登録しておきます。
パソコンで PNG ファイルを作って登録する方法と、本製品でテキストを入力して登録する方法があります。

パソコンで PNG ファイルを作って登録する場合

① 画像編集ソフトウェアなどで、次の条件のサインデータを作成する
- Adobe Photoshop CS、CS2、CS3、Elements 4.0、5.0、6.0 で作成された PNG 形式
- 最大データサイズ：10MB
- 最大画像サイズ：720 × 480 画素
- 半透過情報をサポート
- インターレス形式は非対応
- アニメーションはサポート不可

② PNG ファイルを本製品に取り込み、データ一覧画面で選択する

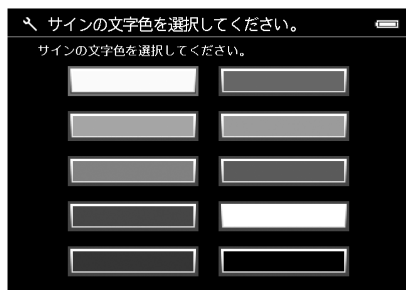
③【OK】ボタンを押す

④ 登録確認画面で［はい］を選択し、【OK】ボタンを押す

※ すでにサインが 3 つ登録されている場合は、登録不可メッセージが表示されます。

本製品で簡単に作って登録する場合





① HOME 画面で［セットアップ］－［サイン］の順に選択

②【↑ ↓】ボタンで［サインを新規作成］を選択し、【OK】ボタンを押す

③ 文字入力画面でテキストを入力する
（☞ 別冊『操作ガイド』59 ページ「ソフトキーボードを使った入力の仕方」）
※ 入力できる文字数は、全角 16 文字、半角 32 文字までです。

④【↑ ↓ ← →】ボタンで色を選択し、【OK】ボタンを押す

⑤ 登録完了画面で【OK】ボタンを押す

登録を削除するときは



① ［セットアップ］の［サイン］で削除するサインを選択し、【OK】ボタンを押す
② 削除確認画面で［はい］を選択し、【OK】ボタンを押す
③ 削除完了画面で【OK】ボタンを押す

サインを配置する

サインを選択して、配置します。





① 印刷レイアウト編集画面のメニューから［サインを選択］を選択し、【OK】ボタンを押す
② 【← →】ボタンでサインを選択
③ 【OK】ボタンを押す
④ サインのサイズや入れる位置を設定

- 【Zoom ＋ －】ボタンでサインを拡大 / 縮小
- 【↑ ↓ ← →】ボタンまたはホイールキーでサインを移動
- 【Display】ボタンでサインを回転

※ サインを削除したいときは【Back】ボタンを押します。

⑤ 【OK】ボタンを押す

参考

- 配置できるサインは 1 つです。サインを配置後、新しくサインを選択すると、先に配置されていたサインは削除されます。
- 保存した印刷レイアウトや作品のサインは、再編集したり、削除したりすることはできません。

3 印刷レイアウトが設定できたら、【OK】ボタンを押します。

4 プレビューを確認し、思い通りに仕上がっていたら保存します。



① 【↑ ↓】ボタンで項目を選択
② 【OK】ボタンを押す

▶ 設定を保存する場合は［OK］を選択

5 へ

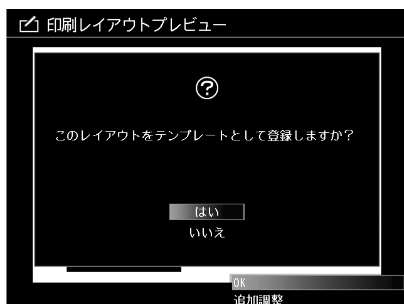
▶ レイアウトし直す場合は［追加調整］を選択

18 ページ 2 に戻ります。

「元のファイル名 _E 連番 _ 用紙サイズ」名で保存されます。
レタッチデータまたはトリミングデータを保存後レイアウトした場合は、レタッチデータまたはトリミングデータと同じフォルダに保存されます。
レイアウトから操作した場合は、[フォト] の [PRINT] フォルダに日付別フォルダが作られ、その中に保存されます。（☞ 本書 32 ページ「中断した続きから作品づくりを始めたい」）

5 保存が完了すると、テンプレート登録確認画面が表示されます。登録する / しないを選択します。

テンプレートに登録すると、別の画像をこの印刷レイアウトで印刷できます。



① 【↑ ↓】ボタンで項目を選択
② 【OK】ボタンを押す

▶ 登録する場合は［はい］を選択

6 へ

▶ 登録しない場合は［いいえ］を選択

ステップ 5（23 ページ）へ

6 テンプレートの名前を付けます。

名前を入力します。（☞ 別冊『操作ガイド』59 ページ「ソフトキーボードを使った入力の仕方」）
名前の入力を完了すると、次のステップに進みます。

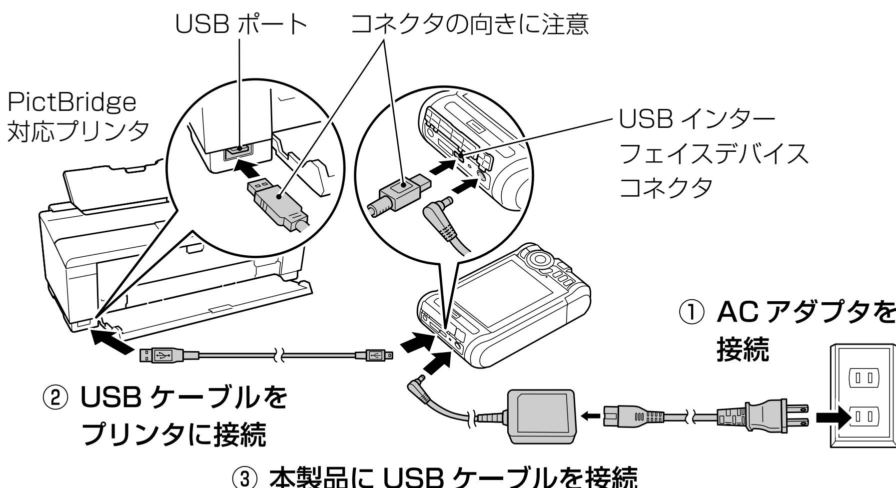
※ 登録できる印刷レイアウトは 10 個までです。すでに 10 個登録されている場合は、メッセージが表示されます。[はい］を選択し、［削除する印刷レイアウトを選択］画面で不要なテンプレートを選択して削除してください。

ステップ 5　印刷する

ステップ 4 の最後の手順を操作すると、プリンタ検出が始まります。本製品をプリンタに接続して印刷の設定をします。

「プリンタが接続されていません。」というメッセージが表示された場合は、本書 25 ページ 参考 を参照してください。

1　本製品に AC アダプタを接続し、プリンタに接続します。



重要

- プリンタ接続時は、必ず AC アダプタを接続して使用してください。
- USB インターフェイスホストコネクタに触ったり、他のケーブル等を差し込んだりしないでください。
- パソコンやプリンタと接続するとき以外は、本製品から USB ケーブルを取り外してお使いください。

参考

- 使用できるプリンタは、PictBridge 対応プリンタです。
- プリンタ側の接続方法については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

2 印刷設定を指定し、印刷します。

プリンタの種類によって、設定できる内容が異なることがあります。



① 【↑ ↓】ボタンで項目を選択
② 【OK】ボタンを押す
③ 【↑ ↓】ボタンで設定値を選択
④ 設定し終わったら、【↑ ↓】ボタンで［印刷開始］を選択
⑤ 【OK】ボタンで印刷開始

項目	設定値	説明
部数	1 ～ 10	印刷部数を指定します。
日付印刷＊1	オン、オフ	撮影日を印刷する / しないを選択します。
用紙サイズ＊2＊3＊4	－	印刷レイアウトに設定されている用紙サイズが選択されます。
用紙種類＊2	－	印刷する用紙種類を選択します。
印刷モード＊2	高速、 高画質、 最高画質	印刷画質を選択します。 高速：印刷速度を重視した設定で印刷します。 高画質：推奨設定で印刷します。 最高画質：最高の印刷品質が得られる設定で印刷します。
自動画像補正＊4	オン、オフ	画像にオートフォトファインの効果をかけて印刷する / しないを選択します。

＊1　印刷される日付は Exif データから設定されます。日付情報がないデータはファイルの日付が印刷されます。

＊2　プリンタの種類によって、選択できる項目が変わります。またプリンタの機種によっては、設定項目に［プリンタ側で設定］と表示されることがあります。この場合にはプリンタの設定が反映されます。

＊3　プリンタが印刷レイアウトに設定されている用紙サイズに対応していないときは、エラーメッセージが表示されます。用紙サイズを選択してください。この場合、用紙サイズによっては画像が切れて印刷されることがあります。

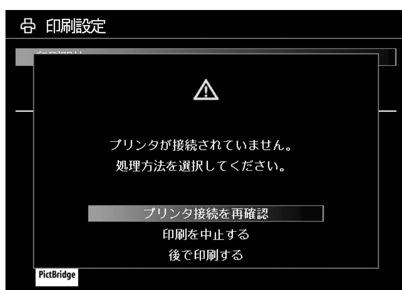
＊4　［オリジナルを印刷］（本書 ☞28 ページ）で印刷するときに設定できます。印刷する画像やプリンタの機種によっては選択できないことがあります。

設定途中や印刷開始後に印刷を中止したいときは【Back】ボタンを押します。表示される画面に従って操作してください。（印刷を中止しても、すでにプリンタに転送された画像データは印刷されます。）

印刷が終了すると、「印刷が終了しました。」と表示されます。【OK】ボタンを押すと、［印刷ナビゲーション］画面に戻ります。

参考

- プリンタ検出が始まってから、本製品をプリンタに接続していなかったり、接続していても本製品がプリンタを検出できなかった場合は、次の画面が表示されます。目的の項目を選択してください。

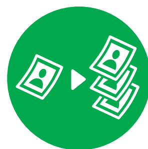


①【↑ ↓】ボタンで項目を選択
②【OK】ボタンを押す

  - 印刷する場合は、プリンタの接続を確認して［プリンタ接続を再確認］を選択します。
  - 印刷を中止する場合は、［印刷を中止する］を選択します。
  - 次回、印刷する場合は、［後で印刷する］を選択します。
    指定した印刷内容を本製品に保存して、［印刷ナビゲーション］画面に戻ります。次回 HOME 画面で［印刷ナビゲーション］を選択すると、この印刷を実行するかどうかの確認メッセージが表示されます。（☞ 本書 32 ページ「印刷確認メッセージが表示されたときは」）印刷を中断したデータが保存されている場合は、今回のデータが上書きされます。
- 本製品から印刷を行った場合、パソコンから印刷を行った場合と印刷結果（色合い）が異なることがあります。

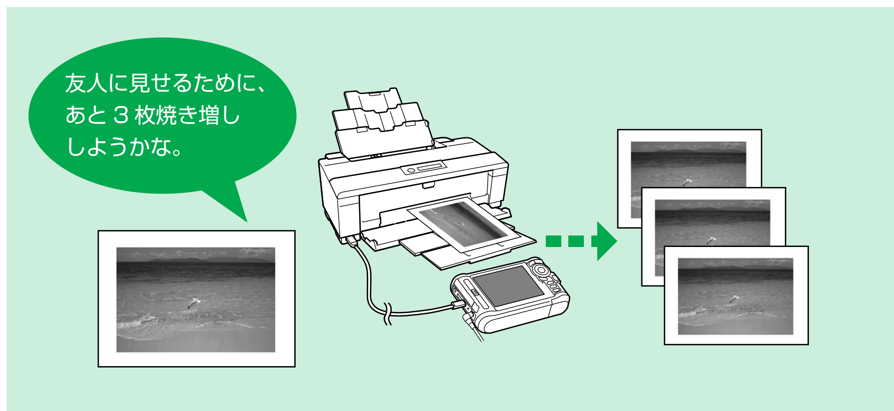
プリンタから本製品を取り外すときは

印刷が終了していることを確認してから取り外してください。（本製品、プリンタとも電源オンのまま取り外せます。）

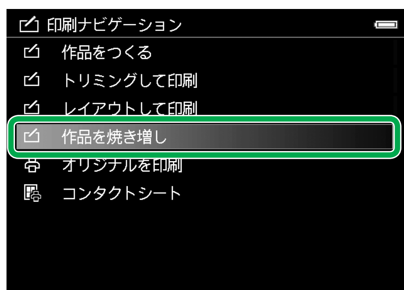


作品を焼き増しする

1 枚の作品を 1 部または複数部、印刷します。
部数は印刷設定（☞ 本書 24 ページ）で指定します。



1 ［印刷ナビゲーション］画面で［作品を焼き増し］を選択します。



本書 5 ページ「ステップ 1　画像を選択する」の 1 ～ 2 と同様の操作をします。
次に、［作品を焼き増し］を選択します。

① **【↑ ↓】ボタンで［作品を焼き増し］を選択**

② **【OK】ボタンを押す**

2 印刷したい作品を選択します。

［フォト］の［PRINT］フォルダ内の作品データのみ、すべて表示されます。



① 【↑ ↓← →】ボタンで作品を選択

② 【OK】ボタンを押す

参考

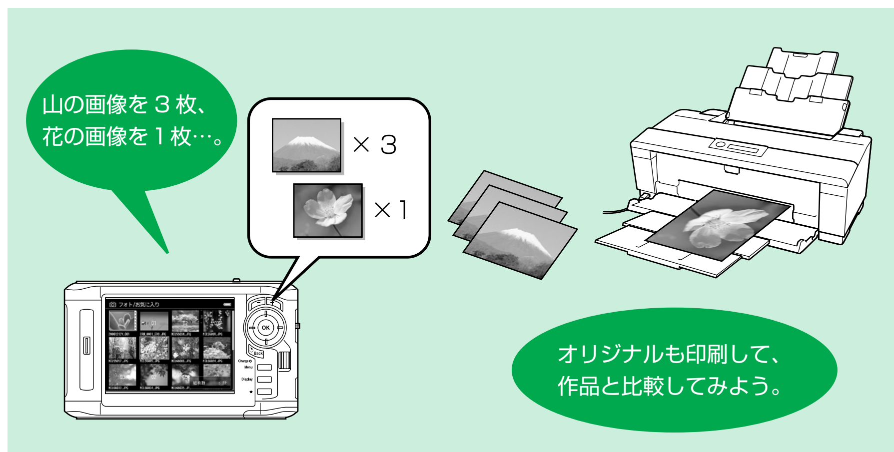
- 【Display】ボタンで画像表示に切り替えることができます。画像表示中も、作品を選択できます。

以降の操作は、本書 23 ページ「ステップ 5　印刷する」の手順と同じです。

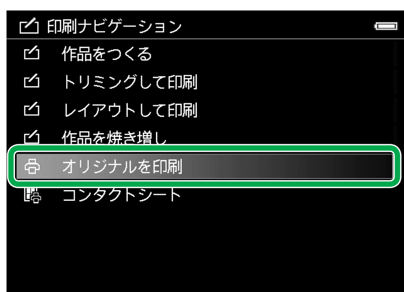


オリジナルを印刷する

作品に仕上げる前の本製品に取り込んだままの画像や、作業途中の画像を、画像ごとに枚数を指定して印刷できます。RAW 画像は、自動的に現像（JPEG 化）され、印刷されます。



1 ［印刷ナビゲーション］画面で［オリジナルを印刷］を選択します。



本書５ページ「ステップ１　画像を選択する」の 1 ～ 2 と同様の操作をします。
次に、［オリジナルを印刷］を選択します。

①【↑ ↓】ボタンで［オリジナルを印刷］を選択

②【OK】ボタンを押す

2 印刷したい画像が入っているフォルダを選択します。

①【↑ ↓← →】ボタンでフォルダを選択

②【OK】ボタンでフォルダ内を表示

※ サブフォルダを選択する場合は、必要に応じて①～②を繰り返してください。

3 印刷したい画像を選択し、印刷枚数を指定します。



① 【↑ ↓ ← →】ボタンで画像を選択

② 【Zoom ＋ －】ボタンで枚数を指定

③ 指定し終わったら、【OK】ボタンを押す

※ 指定できる枚数は 1 画像につき 10 枚、総枚数 100 枚までです。

参考

- 3 の画面で【Menu】ボタンを押すと、メニューが表示されます。

  ① 【↑ ↓】ボタンで項目を選択

  ② 【OK】ボタンを押す

  ※ このメニューを実行後、3 の画面に戻ってからも設定を変更できます。

項目	説明
JPEG 画像をすべて選択	選択しているフォルダ内のすべての JPEG 画像を、1 枚ずつ印刷するよう設定します。
RAW 画像をすべて選択	選択しているフォルダ内のすべての RAW 画像を、1 枚ずつ印刷するよう設定します。
すべての画像を選択	選択しているフォルダ内のすべての静止画を、1 枚ずつ印刷するよう設定します。

4 印刷レイアウトを選択します。



① 【↑ ↓ ← →】ボタンで印刷レイアウトを選択

② 【OK】ボタンを押す

「ステップ４　印刷レイアウトを設定する」で登録した印刷レイアウト

以降の操作は、本書 23 ページ「ステップ５　印刷する」の手順と同じです。
印刷設定の部数は、指定できません。

印刷設定の用紙サイズは、 4 で［フチなし］/［フチあり］を選択した場合に設定できます。登録した印刷レイアウトを選択した場合は、その印刷レイアウトに設定されている用紙サイズが選択されます。



コンタクトシートを印刷する

1 枚の用紙に、16 個または 40 個の画像を割り付けて印刷できます。
RAW 画像は、自動的に現像（JPEG 化）され、印刷されます。

必要な画像だけ選んで……

コンタクトシート

EPSON0039.EPF

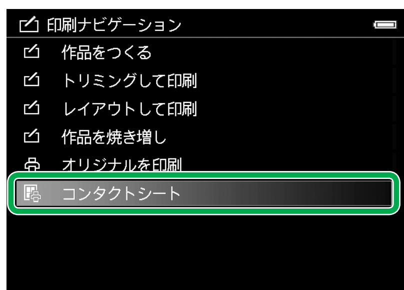
ファイル名も印刷されるんだ。

画像の確認用に、たくさん印刷したいときに便利だな。

40 面付け

16 面付け

1 ［印刷ナビゲーション］画面で［コンタクトシート］を選択します。

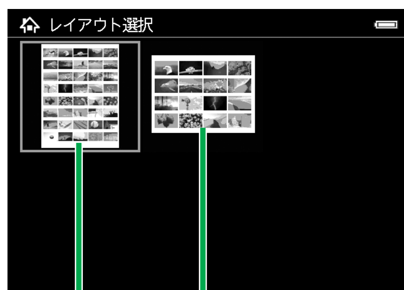


本書 5 ページ「ステップ 1　画像を選択する」の 1 ～ 2 と同様の操作をします。
次に、［コンタクトシート］を選択します。

① 【↑ ↓】ボタンで［コンタクトシート］を選択

② 【OK】ボタンを押す

2 印刷レイアウトを選択します。



① 【↑ ↓← →】ボタンでレイアウトを選択

② 【OK】ボタンを押す

※ レイアウトによって、印刷できる用紙サイズが決まっています。
40 面付け : A4、Letter、A3
16 面付け : L 判、4 × 6
用紙サイズは、印刷設定(☞本書24ページ)で選択します。

3 印刷したい画像が入っているフォルダを選択します。

① 【↑ ↓← →】ボタンでフォルダを選択

② 【OK】ボタンでフォルダ内を表示

※ サブフォルダを選択する場合は、必要に応じて①〜②を繰り返してください。

4 印刷したい画像を選択します。



① 【↑ ↓← →】ボタンで画像を選択

② 【★】ボタンでチェックを付ける / 外す

③ 【OK】ボタンを押す

※ 選択できる画像は 1200 個までです。

参考

• 【Menu】ボタンを押して表示されるメニューで、一括選択ができます。(☞ 本書 29 ページ「オリジナルを印刷する」3 参考)

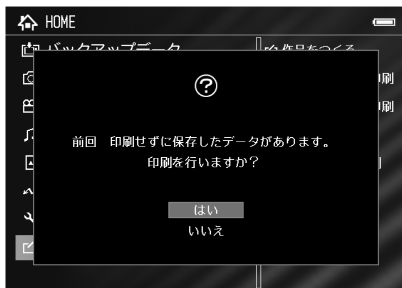
以降の操作は、本書 23 ページ「ステップ 5　印刷する」の手順と同じです。



こんなときは

印刷確認メッセージが表示されたときは

印刷の手前で中断したデータがある場合、HOME 画面で［印刷ナビゲーション］を選択すると、以下のメッセージが表示されます。そのデータを印刷する / しないを選択します。



① 【↑ ↓】ボタンで項目を選択
② 【OK】ボタンを押す

▶ 印刷する場合は本製品をプリンタに接続して［はい］を選択

プリンタ検出が始まります。本書 23 ページ「ステップ 5　印刷する」の手順で印刷します。

▶ 印刷しない場合は［いいえ］を選択

［印刷ナビゲーション］画面が表示されます。続きの操作を行ってください。

中断した続きから作品づくりを始めたい

作品づくりの途中で作業を中断しても、次回続きから再開できます。
また、作品づくりの各ステップ（レタッチ、トリミング、レイアウト）で保存したデータは、［フォト］の［PRINT］フォルダに日付別フォルダ * が作られ、その中に保存されます。

＊日付別フォルダのフォルダ名は、「取り込み日＋ Y/M/D ＋連番」で付けられます。
Y/M/D は、日時表示形式を示しています。
例）2008 年 12 月 24 日の場合
年月日：20081224Y.001
月日年：12242008M.001
日月年：24122008D.001

［印刷ナビゲーション］画面の各スタート項目から作業を始めていくと、以下の表のようにデータが保存されます。レタッチやトリミングをしないで次のステップに進むと、そのステップのデータは保存されません。

		［印刷ナビゲーション］画面のスタート項目									
		［作品をつくる］						［トリミングして印刷］			［レイアウトして印刷］
ステップ	レタッチ	R	R	R	×	×	×				
	トリミング	（再開）	T	T	T	T	×	T	T	×	
	印刷レイアウト	（再開）	（再開）	L	（再開）	L	L	（再開）	L	L	L
日付別フォルダに保存されるデータ		R	R T	R T L	T	T L	L	T	T L	L	L

R：レタッチデータ
T：トリミングデータ
L：印刷レイアウトデータ
×：作業スキップ
●→：作業開始／終了
●‥→：再開／終了

●**途中で中断した作業を再開したいとき**

始めたいステップのスタート項目から、前回のデータ（R、T）を選択すると再開できます。

●**別の設定でつくり直したいとき**

作業済みのデータも、1 つ前のステップのデータ（R、T）を選択すると、設定を変えてつくり直すことができます。

［PRINT］フォルダの日付別フォルダ内のデータを選択して作業を始めた場合は、データは選択したデータと同じ日付別フォルダに保存されます。
また、保存されたデータはすべて JPEG データです。どのステップからも新規の画像（素材）として選択し、作品に仕上げていくこともできます。

液晶画面の色と印刷した作品の色が違うと思ったら

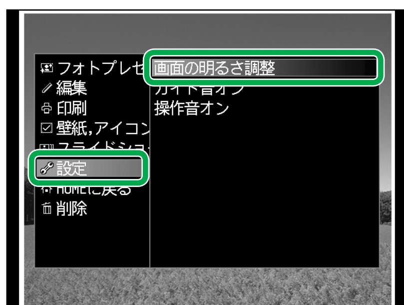
液晶画面と印刷物では色の表現方法が違うため、完全に色を合わせることはできませんが、画面の明るさや色温度を調節することで、色を近付けることができます。
色温度の調節に使用するため、印刷した作品と写真用紙を 1 枚用意しておきます。

画面の明るさを調節する

1 印刷した作品の画像を表示します。



2 メニューから［画面の明るさ調整］を選択します。

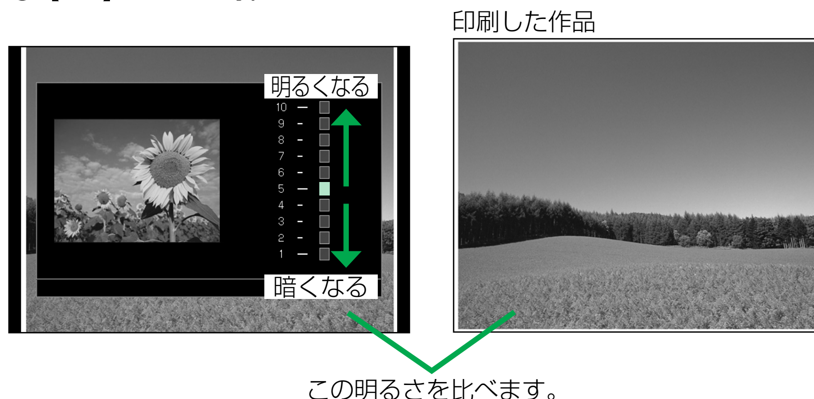


①【↑ ↓】ボタンで［設定］を選択
②【→】ボタンを押す
③【↑ ↓】ボタンで［画面の明るさ調整］を選択
④【OK】ボタンを押す

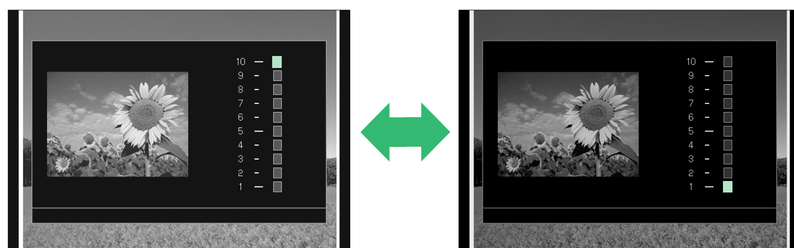
3 印刷した作品と液晶画面を並べて、だいたい同じ明るさになるように、画面の明るさを調節します。

①【↑】ボタンで明るく、【↓】ボタンで暗くして調整

②【OK】ボタンを押す



この明るさを比べます。



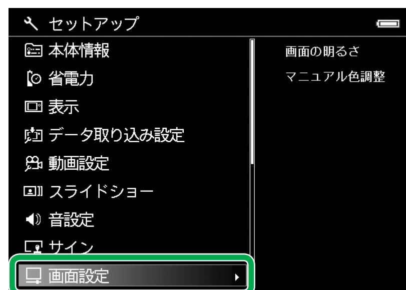
色温度を調節する

1 HOME 画面で［セットアップ］を選択します。

①【↑ ↓】ボタンで［セットアップ］を選択

②【→】ボタンを押す

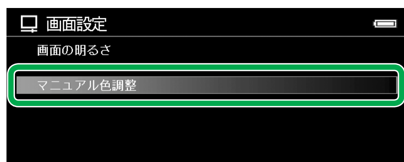
2 ［画面設定］を選択します。



①【↑ ↓】ボタンで［画面設定］を選択

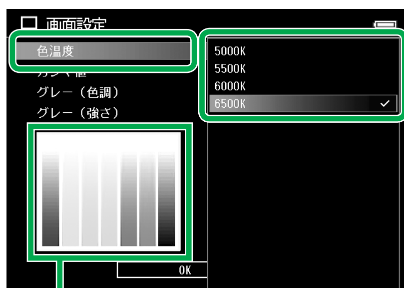
②【OK】ボタンを押す

3 ［マニュアル色調整］を選択します。



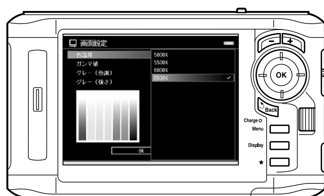
① 【↑ ↓】ボタンで［マニュアル色調整］を選択
② 【OK】ボタンを押す

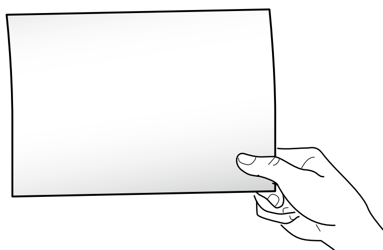
4 表示された色チャートの白部分と写真用紙の白色が近くなるように、画面の色温度を調節します。



この白部分と写真用紙の白色を見比べながら調節します。

① 【↑ ↓】ボタンで［色温度］を選択し、【OK】ボタンを押す
② 【↑ ↓】ボタンで項目を選択し、【OK】ボタンを押す
③ ①～②を繰り返して、写真用紙の色に一番近い色温度を選択する
④ ［OK］を選択し、【OK】ボタンを押す



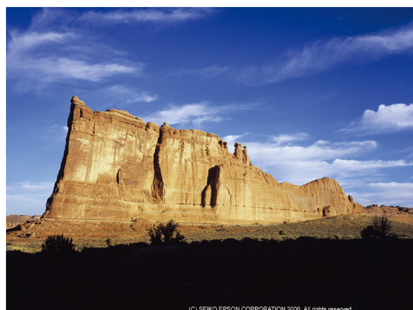


参考

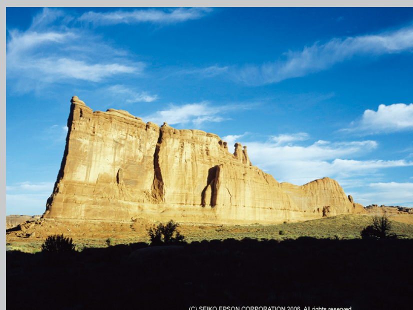
- 液晶画面の初期設定値は 6500K です。6500K に近付くほど青みが強くなり、5000K に近付くほど赤みが強くなります。
  ※ 色温度の設定値（K）は目安です。設定値と実際の画面表示には多少のずれがあります。

作品づくりをもっと楽しむために

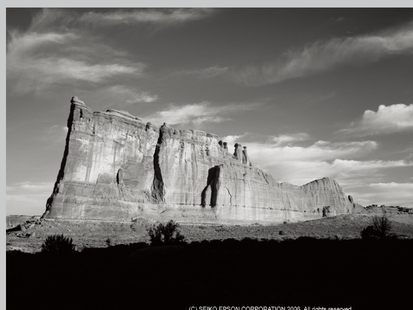
レタッチ次第で、同じ画像でも全く雰囲気の違う作品に仕上がります。（☞ 本書 8 ページ「ステップ 2　レタッチ（編集）する」 2 ）







[明るさ]：明るい
[カラーバランス]：グリーン寄り
▶▶▶ 柔らかくのどかな雰囲気に。



[モノクロ]
▶▶▶ 迫力と臨場感のある写真に。







[コントラスト]：高い
▶▶▶ 鮮やかで光あふれる印象に。



[コントラスト]：低い
[カラーバランス]：マゼンタ寄り
▶▶▶ 柔らかく眠たげな雰囲気に。

トリミングやレイアウトを工夫すれば、作品づくりの楽しみがさらに広がります。



［トリミング］で画面右部分を切り取る

▶▶▶ まっすぐに伸びる道を写真の真ん中に配置できます。

トリミングをうまく使いこなせば、バランスを調整したり、余分なものをカットしたりできます。

（☞ 本書 12 ページ
「ステップ３ トリミング（切り抜き）する」）

余黒（［背景色］：黒、［フレーム色］：白）

▶▶▶ 写真が引き立ち、まるで絵画のような仕上がりに。

（☞ 本書 19 ページの表）

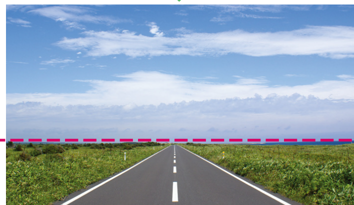


サインを入れれば、あなただけの作品に。

（☞ 本書 20 ページ「サインを設定する」）



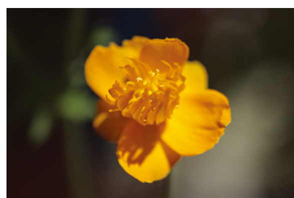


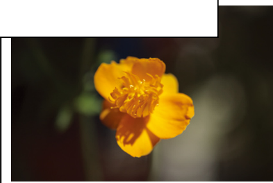


［傾き調整］で地平線を調整

▶▶▶ 地平線や水平線の微妙な傾きも、細かく調整して水平にできます。

（☞ 本書 16 ページ「傾き調整」）





印刷レイアウトを工夫して、インスタントカメラ風にアレンジすることもできます。

（☞ 本書 18 ページ
「ステップ４　印刷レイアウトを設定する」 2 ）



411888800

Printed in XXXXXX

Multimedia Storage Viewer™ P-7000/P-6000

印刷ナビゲーションガイド

EPSON